

熱い少年野球届けたい

豊見城大会で初中継

FMとよみ

【豊見城】豊見城市の地域放送局FMとよみ（安慶名雅明社長）は、12日から始まる「第110回豊見城市学童軟式野球大会・第5回JAおきなわ豊見城支店杯争奪学童軟式野球大会」（豊見城市スポーツ少年団主催）を初めて会場から生放送する。主催する同少年団の高安定本部長は「ラジオ局が野球中継をするとなると、子どもたちも張り切るし、家族も楽しみにしている」と歓迎している。

12日開幕 ネット放送も

FMとよみは12日の開會式、19日の準決勝、決勝を生放送する。球場では試合に集中してほしいと音声は流さず、保護者に携帯ラジオの持参を呼び掛け、観客席で聴いてもらいたい考え。

FMとよみのホームページを通じて、試合の映像と音声を放送するため、地上波が届かない市外でも試合の様子が楽しめる。根差部ベースライン監督の金城敬さんは「応援する保護者にとってもいい取り組みだと思



学童軟式野球大会での生放送に意欲を見せる安慶名雅明社長（右から2人目）と歓迎する豊見城市スポーツ少年団の高安定本部長（同3人目）11月25日、豊見城市のFMとよみ

う」と話す。安慶名社長は「豊見城市は野球が盛んな地域。以前から野球の生放送を

やりたかった。試合の録音は、子どもたちが大人になってからの宝物になると思う」と語り「大人の野球大会やほかのスポーツ種目にも実況を広げていきたい」と意欲を見せた。（高江洲洋子）

2012年2月9日(木) 琉球新報